



埼玉ワイズメンズクラブ

Saitama Y's Men's Club

月間テーマ：Alexander Scholarship Fund



2021-22 年度 会長テーマ「地域と繋がろう・地域に知られよう」

関東東部部長 大澤和子（所沢）「私の地域から世界に広げよう青少年を支えるワイズの輪・和・ワッ！」

東日本区理事 大久保知宏（宇都宮）「私たちは次の世代のために何ができるか？」

アジア地域会長 Ohno Ben（大野勉・神戸ポート）“Make a difference beyond the 100th” “100年を越えて変革しよう”

国際会長 キム・サンチュ（韓国）“Y's Men with the World” “世界とともにワイズメン”

会長 浅羽俊一郎 / 副会長 上松寛茂 / 書記 水無瀬隆三 / 会計 小林道明

直前会長 上松寛茂 / ブリテン 水無瀬隆三・浅羽俊一郎 / 担当主事 太田 聡

今月の主な内容

- ◆10月例会メモ ◆ ◆さいたまの市民活動を訪ねる
- ◆メンズエッセイズ ◆メンバーからのお便り
- ◆YMCA 便り・小窓から ◆フォトギャラリー



会長挨拶



浅羽俊一郎
緊急事態宣言が解除になってひと月が過ぎ、コロナ以前の世界に戻ったつもりでいましたが、よく見ると何か違っているように感じます。日常の世界を元に戻そうと個人も社会も動いていますが、私たちの周囲を見えない皮膜が覆っているように思えるのです。今まで「当たり前」だったことに対して「ちょっと待てよ」と距離をおいたり、少しだけ視点をずらして物事を見てしまう。まだコロナ禍の中にいるからか、もっとインパクトの大きい地球環境の危機が騒がれ続けているからなのか。単に歳のせいとも思えないのです。それでも久しぶりに一献傾けて友人とじっくり話す機会が出来てホッとしています。（写真は11月初めワイズの2氏と焼肉「牛将」を訪ね、東京 YMCA とも繋がりのある店の主人ラーナ氏と再会を祝した時のもの。じっくり話すことが出来ました。◆



い地球環境の危機が騒がれ続けているからなのか。単に歳のせいとも思えないのです。それでも久しぶりに一献傾けて友人とじっくり話す機会が出来てホッとしています。（写真は11月初めワイズの2氏と焼肉「牛将」を訪ね、東京 YMCA とも繋がりのある店の主人ラーナ氏と再会を祝した時のもの。じっくり話すことが出来ました。◆

今月の聖句

「私たちが愛するのは、神がまず私たちを愛してくださったからです。」 ヨハネ第1の手紙4章19節

私の心に触れた言葉

衣笠輝夫

「気が付く、気になる、ほっとけない」

私はバリアフリーの街さいたま新都心でボランティア活動をしています。ボランティアグループのスローガンが「気が付く、気になる、ほっとけない」です。足の不自由な方、目に障害のある方への理解と手助けを目的に車椅子疑似体験、視聴覚障害疑似体験を企画し、近隣から集まる小学校生徒を体験指導しています。疑似体験した後の感想は「いままで気が付かなかったことの多さに驚いた」、「車イスに座ると女性のハンドバックが凶器になることに気が付いた」。ちょうど顔のあたりにハンドバックがくるからです。人の話をよく聞いて、多くの気が与えられるのと同じように、この疑似体験でも多くのことに気が付かされます。気が付くと気になります。そして声かけしたり手助けの行動へと押し出されていきます。ブリテンギャラリーに写真。

11月「もみじ」例会 案内

日時：11月22日(月) 午後2時～4時

会場：「き咲きてらす」（浦和区木崎3-6-6）

開会：点鐘・モットー・ソング・聖句・祈祷
ゲスト紹介・誕生日/祝い事

卓話：佐藤 英代氏（略歴はスライドで）

「マレーシア：私の20年の歩み」

YMCA タイム（報告と小窓から）

交流のひと時・閉会

* 閉会后懇親会予定しています。

* コロナ対策は皆さんで心がけてください。

◆ 10月「緊急事態 解除宣言」例会メモ



10月25日の例会は「緊急事態解除宣言」と銘打って開催された。9月例会に女性が3名参加して華やいだ気分だっただけに、ちょっと寂しかったかと思いきや。ロートルは大いに議論した。スクリーンに映し出された協議テーマにそって色々意見交換がなされた。

ユースについては埼大生と接点を持つ、あるいは浦和YMCAの卒業リーダーへの感謝を検討しようという案。フィリピンのパンガシナン・ワイズと埼玉3クラブのIBCについては吉野川越クラブ会長からチャーターが済んでいないことなどを勘案して保留となった。IBCについてはロスターには未だに埼玉クラブと台北ダウタウンクラブとのIBCが記載されている件で、すでにIBCは京都ウェストクラブが引き継いだことが確認された。(次期ロスターから削除) また現会長が進めているブリテン改訂に関しては間隔を開けて原稿依頼してもらいたい、という意見が多かった。来年2月のさいたま市サポセンフェスティバル参加応募については、サポセンの内情に詳しい堀和氏から助言をいただき、ズーム形式ということもあって見合わせるようになった。

話し合いに疲れたところで歌はクイズ形式で「植生の宿」。吉野会長からは紅あか販売促進と、現理事の大久保メン(宇都宮クラブ)による卓話「デジタル・トランスフォーメーション」のアピールがあった。

参加者は上松、太田、小林、水無瀬、浅羽というメンバーの他にゲストの堀和光二郎氏(会友)と川越クラブの吉野会長の計7名。(浅羽 記) ◆

11月 晩例会 (第2回)

11月5日午後6:30に2回目の晩例会を新都心駅のサイゼリアで開催しました。三浦メン、衣笠メン、浅羽メンとビジターは川越クラブの森下メンの4名。前回は緊急事態下の会合でしたが、今回はアルコール少々。楽しく話は盛り上がりました。三浦メンから「き咲きてらす」の活動にと将棋の駒2セットの寄贈あり。今後も月1で開催する予定。形式未定。晩例会の名称を元山手クラブから拝借して「ヨルダン(夜談の)会」と提案したい。次回は12月3日、(浅羽 記) ◆

◆ 今時のユース気質 (3)

広島Yユースたちの「平和」企画

浅羽俊一郎

10月23日広島YMCA主催のYMCAユース平和ミーティングに参加させてもらった。経験の浅いユース・リーダーたちがミーティングを重ねて、76年前の広島原爆投下の意味を理解してもらおうと自分たちが制作した動画に自らが平和記念公園のガイド役を務めたものを上映した。さらに実際にきのこ雲の下での体験をヒバクシャの田中稔子さんに語ってもらい、テーマ「当たり前の日常が奪われたこと」についてグループに分かれて意見交換できた。



当たり前を奪われたヒバクシャ達と今コロナ禍中の私たち。状況こそ違っても「当たり前」を見つめ直す機会になっている。講演された田中さんは83歳だが、70歳のときに南米で知り合った若者にご自身の体験を語ったのがきっかけでカミングアウト。その時の体験から今回参加した若者たちにも、海外の若者たちと繋がりなさい、と繰り返し訴えていたのが印象的だった。このユースによる平和企画はまさにユース・エンパワーそのもの。今後の広島YMCAのユース企画に期待したい。ユースと広島Yにエールだ! ◆

◆ さいたま市の市民活動を知ろう (4)

コミュニティサロン「みんなの夢ハウス」

浅羽俊一郎

雨の降りそぼる秋のある日、スマイルハウス浦和(地域包括支援センター)の職員で「き咲きてらす」サポーターの峯村氏と与野駅西口の住宅街にある在宅型のコミュニティ・センター「みんなの夢ハウス」(以下「ハウス」)を訪問した。



代表の五味滋子さんは2階にご夫君と暮らし、1階は老母がお住まい、という二世帯住宅在住のまま、昨年5月にオープンした。コロナ禍の中だからこそ公民館が遠すぎるという人たちのために必要だと有志達と決断したという。

活動は手仕事倶楽部、健康マージャン、IT倶楽部など高齢者の多様な生き方を大切に企画している。自治会、学校など地域との信頼関係も厚く保っている。活動は週3回の午前午後。何よりもご家族の理解があることが大きいと思った。写真はある日の活動風景(五味氏提供)と、訪問当日玄関前の案内板を撮ったもの。❖



～メンズ・ショート?エッセイズ～

「学Yを通じ良き隣人とはを学んだ思い出」(後編)

水無瀬隆造



(1963年に始まった立教大YMCAの青森県「牛滝村」の子供たちとの交流はその後40年続く)又35回目の年の訪問にはOB・OG総員5名が参加し、学校長、PTA会長、村総代、青年団代表の皆様と交流し、改めて交わりの深さに感激致

しました。初期メンバーが本活動の基本精神を「信・望・愛」(隣人愛)としてスタートし、それを行動原理として長く継続された結果です。訪問学生や生徒達は年々変わりますが変わらぬ基本で活動したことで、双方にとって楽しい思い出作りと成りました。ところがその後学校の児童が減少し、ある日突然令和3年

(2021年)より学校を「休校」し佐井本村の学校に組込まれる旨の連絡が有りました。児童達は1時間の車通学と成ります。でも牛滝村では「廃校」ではなく今後住民の手でよ

みがえらせたいとの熱い思いを「休校記念誌」で述べています。村のPTA、記念誌発行委員長より、その編集に協力頂きたい旨の連絡を頂きました。令和3年6月にご父兄から届いた「休校記念誌」は、31頁に亘る立派なグラビア記念誌でした。更に驚きは「歴代学校

ふるさとチャレンジ隊
牛滝地区の小・中学生

八月七日から八日にかけて牛滝地区生活交流センターで立教大YMCAのみなさんと牛滝地区小中学生との交流会が行われました。

この交流会は、佐井村教育委員会が県教育委員会から委託を受けた学校外活動事業「ふるさとチャレンジ隊」として実施されました。立教大YMCAと牛滝地区の子どもたちとの交流は、三十年以上も続いています。今年はこの交流会に宿泊体験を取り入れました。

当日は、大学生二十二名と小中学生十九名が参加しました。みなさんは、一緒に焼肉を食べたり、学校の中で藏った仕掛けのきもちめしをしました。その後、子どもたちは親元を離れてセンターに宿泊。次の日の朝食づくりのひとときまで、大学生のお兄さんお姉さんに助けられ、励まされながら、楽しい体験をすることができました。



長挨拶」と「牛滝村小中学校の沿革」に続いて「立教大学(YMCA)との交流」が12頁に亘り掲載され、昔懐かしい子供達、ご婦人方、青年団との交流写真が有り、その懐かしさに胸が熱く成りました。そして村民と学生が良き思い出を綴ってきたことが確認出来ました。又村民の中にはと立教大学を是非訪問したいという者も多数居られ、準備したいとの連絡が有りました。しかし残念ながら、コロナ禍で延期やむなしと成って居ります。私達OB・OGも先方もともに高齢と成りどのような顔をして集まるか、その日が楽しみです。その折お子さん達の参加も有るとの事で嬉しい限りです。

初期訪問団が隣人愛の基本精神で牛滝村と向き合った思いをその後も連綿と受け継ぎ村民と協力して「立教大学生の訪問」が村の一代イベントにまで発展しました。村民との相互信頼を築いた事により、良き隣人として長く交流していったという大切な事を高齢に成って改めて学びました。全国YMCAの「見つかる」、「つながる」、「良くなっていく」のポジティブ・シンキングがピッタリと生かされた活動を私達がしてきたのだと思います。卒業50年余りを過ぎて、改めて懐かしい思い出の中に、素晴らしい歴史をOB・OGが刻んだ事が確認され、誠にうれしく感謝で有ります。(写真は「さい」1998年10月号)❖

恩師 関田寛雄先生 と「フーテンの寅さん」(前編)

(連載その3)

上松寛茂

映画「男はつらいよ」フーテンの寅さんをこよなく愛する青山学院大学時代の我が恩師関田寛雄先生(同大名譽教授)は93歳の高齢、週3日の透析にもかかわらず、現役の“寅さん牧師”を自称、教え子たちが牧師を務める全国の教会に招かれ、弱者の視点で寅さんの目線に立つ熱い説教行脚を続けている。11月6日には山梨YMCAで、関田先生の大学時代の仲間、同理事長だった大澤英二召天1周年記念講演の集いで関田先生が「和解のために生きる～YMCAの課題～」のテーマで講演されると聞き、“追っかけ”ではるばる甲府まで日帰りで出掛けた。残念ながら小生の難聴で補聴器の効果もなく、講演内容はほとんど聞き取れず、後日山梨ワイズの方からCDをいただく約束なので、いずれこの内容をご紹介します。

学生時代、寅さんの話題はなかった。それはそうだ。「男はつらいよ」は当初フジテレビで放映され、映画化が初公開されたのは1969年8月。同大学を既に卒業、学士編入後の事。

はつらつとしたサラリーマンはもとより高度成長期の波に乗れず、バブル崩壊ではじかれた弱者にとってはなおさらのこと、この映画は身に沁み、心の奥底の琴線に触れ、慰められた人たちの熱狂的な喝采を浴



びた。大学紛争が萎み、価値観が混とんとする中で東映のやくざ映画が盛況、やくざ上がりのインテリ俳優安藤昇が「男はつらいよ」の原案を当時助監督だった山田洋次さんに持ち込んだという説がある。その後同大学神学科は廃止されることになる。(以下続く) ❖

YMCA スペース

◆ YMCA 便り

- ・ 11月3日-23日 第22回埼玉YMCAチャリティーラン(11/28閉会式)
- ・ 11月20日-21日 みんな集まれ2021キャンプ
- ・ 12月1日早天祈祷会(奨励:木村恭子牧師/川越教会)
- ・ 12月11日 クリスマス礼拝・祝会(zoom19:30-)

◆ YMCAの小窓から

先月は保護者面談の時期だった。月に一度のグループ活動に参加する障がいのある男子A君は小学校から参加している。発語が少なく、当初は落ち着かなくなると大きな声をあげてしまうことが多かった。「いろいろな場所に連れて行けたけれども、Yはいつも活動後にリーダーが笑顔で報告してくれて、息子が迷惑をかけているのではないかという気持ちを消してくれた」と当時を振り返り、お母さんが話してくれた。

そんな彼はキャンプソングが大好きである。私たちへの要求が少ない彼が、唯一強く求めてくるのが、お気に入りの歌のリクエスト。リーダーは精一杯応えようと何度でも繰り返して歌う。そんな時、「別の歌にして」と他の友達が言いちょっとしたトラブルになる。そんなエピソードをお母さんに話すと、「息子の気持ちを最大限に受け入れようとするリーダーの気持ちも嬉しいけれど、友達とのそういったトラブルも勉強です。たくさん経験してほしい」と。保護者の想いに触れながら、またリーダーも活動の意義を感じる瞬間であった。A君の好きな歌「ともだちになるために」❖

最近気になった NEWS

- ✓ 10月31日衆院選開票、自民党が261議席で絶対安定多数を確保。維新の会も増進。
- ✓ 11月12日までグラスゴーでCOP26。脱炭素化社会への協議。地球市民達は為政者達が声を行動にするを訴える。
- ✓ 11月13日藤井聡太(19)が最年少で将棋4冠を制す。

メンバーたちの近況

三浦メン: 近況ですが、その前に私は大学では建築学科では人間工学が先行したのち補償コンサルタントをしてましたので、その関係で建物の傾きや、調査等お仕事をしておりますので、その関連依頼をしております。この度も地盤沈下並びに補償の打ち合わせをしております、静岡にまいります。

今後の主な行事日程

- 11月20日 第2回関東東部親睦会
- 11月27日 川越ワイズ例会・大久保理事卓話
- 12月3日 埼玉ワイズ晩例会「ヨル談会」

10月例会報告	会員在籍数	7人
例会出席数	7人	
ゲスト・ビジター	2人	
会員出席率	71%	
ニコニコ	円	

編集後記 11月号をお届けいたします。緊急事態解除で、今月は上野のゴッホ展、早稲田は東京YMCA本部、四谷はYMCA同盟へ。はたから見れば節操のない者と見えるでしょうか。(SA)

Men's FOTO Gallery

*本ブリテン1頁の「気が付く、気になる、ほっとけない」の言葉を紹介した衣笠メンの関連写真2枚です。弱い者の立場を体験し考える子どもたちです。

